

第13回 国立市これからの公共施設の在り方審議会 議事要旨（記録）

日時	令和2年1月21日（火）19：00～21：00
場所	国立市役所3階 第1・2会議室
出席委員 （五十音順）	（会長） 山重 慎二 委員 （副会長） 三田 友一 委員 佐々木 陽一 委員、杉野 聖子 委員、山口 茂 委員 十松 扶美子 委員、中原 修 委員、土屋 邦美 委員、塚田 好彦 委員
欠席	米川 寛 委員
説明員・ 事務局	藤崎政策経営部長、古川資産活用担当課長、小宮資産活用担当係長 中道富士見台地域まちづくり担当課長
傍聴者	なし

○議事

- 1.（議題1） 富士見台圏域の確認と検討

○配付資料

- 資料 No.13-1. 富士見台圏域資源マップ
 - 資料 No.13-2. 地域資源現状チェックリスト【富士見台圏域】
 - 資料 No.13-3. 国立市富士見台地域まちづくり ～重点まちづくり構想に向けた取組み～
 - 資料 No.13-4. （仮称）公共施設再編計画＜第1版＞ 【事務局構成案】
 - 資料 No.13-5. 再配置イメージ図
- 第12回審議会 議事要旨

1. (議題 1) 富士見台圏域の確認と検討

■中道富士見台地域まちづくり担当課長

(資料 No. 1 3 - 3 について説明)

□山重会長

・「整備方針」とは何の整備方針を指すのか。

□中道富士見台地域まちづくり担当課長

・公共施設だけではなく、居場所や活動など、目には見えない資源を含め、「まち」の整備を想定している。

□山重会長

・主体は誰を想定しているのか。

□中道富士見台地域まちづくり担当課長

・市民や行政、事業者など様々な主体を想定している。誰が主体となるのが一番有効かという視点で整理していきたい。

□十松委員

・UR も検討体制に入っているのか。

□中道富士見台地域まちづくり担当課長

・まちづくり協議会にオブザーバーとして参加している。

□佐々木委員

・富士見台地域の主な課題と検討テーマをツリー状に整理しているが、矢印の多さは市民の意見の数を反映しているのか、それとも単に因果関係を示したもののなのか。

□中道富士見台地域まちづくり担当課長

・因果関係を示したものであるが、意見の数も反映されている。

□山口委員

- ・主な課題と検討テーマをまとめたものが整備方針のたたき台になっているというところか。

□中道富士見台地域まちづくり担当課長

- ・4つの検討テーマはあくまで議論をするためのテーマであり、必ずしもこの4つの検討テーマから枝分かれして整備方針を整理しているわけではない。

□山口委員

- ・主な課題には防犯に関する意見が記載されているが、整備方針には防犯に関する記述がない。保護者の立場からはニーズの高い点だと思うが、どのように反映していくのか。

□中道富士見台地域まちづくり担当課長

- ・これまでの検討過程では、保護者の声はまだ拾いきれていないと考えており、来年度はさらに意見を集めて整理していきたい。

□土屋委員

- ・富士見台団地の居住者にとって、エレベーターがないことが喫緊の課題であることをURに伝えてきており、市としてもこの課題に取り組んでほしい。

□中道富士見台地域まちづくり担当課長

- ・この審議会でも意見があった旨、URに伝える。どのようなかたちで整備されるべきなのか丁寧に検討していきたい。

□中原委員

- ・富士見台地域は東西に広がりがあるが、富士見台1丁目や4丁目の住民もワークショップなどに参加しているか。

□中道富士見台地域まちづくり担当課長

- ・1丁目や4丁目の住民にも参加してもらっている。その中では、集会施設の配置状況などについて、地域ごとの格差があるというご意見もいただいている。

□十松委員

- ・文化芸術の視点から、芸術小ホールに対する市民からの期待や意見はあるか。

□中道富士見台地域まちづくり担当課長

- ・あまりご意見をいただけていないテーマであるため、来年度重点的に聞き取りを行っていきたい。

□十松委員

- ・芸術小ホールについては、文化芸術の発信の拠点として、面白い取り組みができるとういと考えている。

■事務局

(資料 No. 13-1、13-2、13-5 について説明)

□土屋委員

- ・ゾーニングがはっきり分かれている「イメージ図3」が、最終形としては一番望ましいように感じた。複合化もしやすく、建物を更新していく際にも効率的で経済的であると思う。

□十松委員

- ・谷保第三公園と第四公園だと利用のされ方が大きく異なる。集約した場合の使い分けなどは検討しているか。

□事務局

- ・この資料は委員のみなさまにイメージをつかんでいただくためのシミュレーションであり、詳細まで検討はしていない。

□山重会長

- ・今ある機能をどう残すかという視点だけではなく、更新したうえでどう使っていくかという視点も必要だと思う。

□塚田委員

- ・谷保第三公園は、球技を行う広いスペースがあり、市の中心にあることから集まりやすく、貴重な場所である。
- ・それぞれの施設に回遊性を持たせる必要がある。

□佐々木委員

- ・どのブロックも幹線道路に接しているので、市内どこからも来やすい。
- ・団地の再編とあわせて用地の換地などが行えると魅力的な整備ができるのではないかと。
- ・子育ての観点から、なかよし保育園と五小を隣接させたり複合化したりすると効果があると思う。

□三田委員

- ・谷保第三公園のように自由に使える一団のスペースがあることは価値がある。
- ・面積が確保されているだけでなく、形状も重要になってくる。

□十松委員

- ・公共施設を再編していく中で、豊島区役所庁舎のように資金を稼ぐという視点はあるのか。

□事務局

- ・具体的な方策はまだないが、そういった視点をもって財政負担の軽減を図っていきたい。

□山重会長

- ・例えば、富士見台地域の公共施設を集約し高層化することで、商業施設を誘致することで、居場所の創出もあわせて行うようなことも考えられる。
- ・公園の中にカフェなどの商業施設を誘致する取り組みもできるかもしれない。
- ・さくら通りに面して公共施設を集約し、アクセスを良くすることで場所としての価値の向上につながるのではないかと。

□杉野委員

- ・小学校については、さくら通りのような交通量の多い道路に面しているよりも、少し落ち着いた場所にあった方がよいと思う。逆に市役所はさくら通りに面していれば、市内のどこからでもアクセスしやすくなる。
- ・市役所や芸術小ホールなどを集約したときに、敷地の一部に緑のある広場を設けることができるかもしれない。

□山重会長

- ・学童や児童館は集約化していくことになるのか。

□事務局

- ・学童については学校敷地内に整備するのが望ましいという考え方がもともとあるので集約化していきたい。

□山重会長

- ・災害時の司令塔となる市役所や避難所となる学校・公園の関係性について、防災の観点を持って検討していきたい。

□三田委員

- ・市の所有する限られた用地での検討には限界があるので、団地再編と一緒に検討できると望ましい。

□中原委員

- ・団地の建替え時期は決まっているのか

□中道富士見台地域まちづくり担当課長

- ・決まっていない。

□土屋委員

- ・富士見台圏域資源マップを見ると、周囲の圏域と重なっている部分が多いことと、歩道付き道路が南北に分断されていることがわかる。
- ・都市計画道路についても表記してほしい。

■事務局

(資料 No. 1 3 - 4 について説明)

□山重会長

- ・ 審議会の答申には第Ⅲ章は含めないとの提案だが、施設再編の重要な内容となる部分なので、第Ⅲ章についても答申に含めるかたちとしたいがどうか。

□事務局

- ・ 内容の深度と併せて調整させていただきたい。

□佐々木委員

- ・ 第Ⅱ章の最後に「どのような方向性が考えられるか」といったまとめのようなものがあった方がよいと感じた。第Ⅲ章の導入にも必要なものとなる。

□山口委員

- ・ 「学区とは異なること」という記載があるが、学区の変更等には触れないという理解でよいか。

□山重会長

- ・ そのとおりである。

□山重会長

- ・ 全市的な施設についてはどこに記載するのか。

□事務局

- ・ 第Ⅱ章で方向性をまとめ、第Ⅲ章に施設ごとの方向性を記載する想定である。

□佐々木委員

- ・ これまで各圏域を見てきた中で、集会施設や公園をどうするのが主な内容になってくるように感じた。

□塚田委員

- ・今後市民に説明していくことを考えると、結論や伝えたいメッセージを最初に持ってきた方が、関心を持ってもらいやすいと思う。

□十松委員

- ・圏域の順番（北・西・矢川・・・）には何か意味があるのか。

□事務局

- ・特に意図はない。北から始まり、隣接している圏域を順に記載した。

■事務局

- ・次回会議については改めて日程調整の連絡をさせていただく。

以 上